

纂校訂.

- 白井光太郎 (1911) : 渋江長伯氏採集の腊葉 (博物之友 第11巻80号 - 白井光太郎著作集 第1巻 本草学・本草学史研究 木村陽二郎編・科学書院刊. 宮部金吾自筆ノート. 蝦夷紀行・北遊草木帳・蝦夷草木腊葉帳目録 (北海道大学農学部宮部文庫蔵) 晩年の記録で草稿年不明.
- 伊藤浩司 (1985) : 北海道高等植物目録 IV. 合弁花植物. たくぎん総合研究所.

- 杉本唯三 (1982) : 植物和漢異名辞林. 第一書房.
- 白井光太郎 (1911) : 維新前ノ植物園 (植物学雑誌 第291号 144p. 東京植物学会).
- 森 丈助 (1878) : 改正大日本全図 刊行者 - 山梨県平民内藤伝右衛門.
- 北海道庁 (1891) : 北海道殖民地選定概図 (北海道殖民地選定報文の附録地図).
- 白井光太郎 (1906) : 新領カラフト嶋ニ関スル最初ノ邦語植物図譜ニ就テ (植物学雑誌 第22巻228号, 8~15p).

○杉浦正己編著『国指定天然記念物小堤西池のカキツバタ群落を守る』(小堤西池のカキツバタを守る会発行, 1991年12月, 69頁)

小堤西池のカキツバタ群落が天然記念物に指定された経緯と、その後の保護活動、調査研究の歩みを種々の資料や新聞の切り抜きなどを集成してまとめている。このほど環境庁長官表彰を受けられた杉浦正己氏をはじめ多くの人々の努力があって今日の小堤西池があるのだということがよくわかる。

ている。浮漂植物ではボタンウキクサ、ウキクサ、コウキクサ、ホテイアオイなど、抽水(浮葉)植物ではオモダカ、ハス、ジュンサイ、ヒツジグサ、ガマ、コウホネ、ウチワゼニグサ、ヨシ、ギニアグラス、イ、ヒトモトススキ、オランダガラシ、エンツアイ、ヒエの一種など、沈水植物ではフサモの仲間、リュウノヒゲモなどが挙げられている。スカルソープも述べているように、本当に効くのかあるいは心理的なものなのかはまだよくわかっていないものが多い。

○緑区・自然を守る会「カタクリの咲く谷戸に 横浜・新治の自然誌」(文一総合出版 1991年9月, 80頁, 2000円)

横浜市北部にある小さな町・新治、駅から歩いて10分ばかりの場所にいくつもの小さな谷と雑木林のある自然が残っている。その自然の姿を、春・夏・秋・冬と季節を追いながら写真とエッセイで紹介する。動物や植物の単なる写真集ではなく、そこに暮らす人々の生活、子供たちの遊びの姿を通じて、人と自然のかかわりの原風景を追っている。横浜市内にこれだけの自然が残っていたことに驚くとともに、身近な自然を残してゆくことの大切さをあらためて考えさせられる良書である。(角野康郎)

Developing a Plan to Manage Lake Vegetation (Stanley A. Nichols, Sandy Engel and Tom McNabb)

水生植物を管理するための方法論。よい計画は以下の四条から成る。①何が問題かを決定し、②植物の生態を知り、③問題に対処するすべての方法を(化学的、物理的そして生物的方法)を考慮し、④結果をモニターする。

Haller's Historical Highlights (Bill Haller)

2, 4-D が発見され水草の除草剤として用いられるまでの歴史が詳しく書かれている。1940年代にポコニーが殺菌用として合成した直後にその植物の成長に対する効果がデュボンとアムケムの科学者によって発見された。2, 4-D が混ざった殺虫剤をハスの葉に散布したところ葉が垂れたという、この1945年の偶然の出来事が、2, 4-D の水生植物に対する初めての応用と考えられる。(国井秀伸)

○抄録 Aquatics (Vol.10, No.4, 1988)

Medicinal Uses of Aquatic Plants Common to Florida (Sue Newman)

多くの水生植物の薬用(黄疸、リュウマチ、筋肉痛、結核、気管支炎、コレラなど)としての価値が書かれ